

2022 日本 ID 陸上競技選手権大会参加関係者

【重要】2022 第 27 回日本 ID 陸上競技選手権大会（兼）パラ陸上競技記録会へ参加するにあたって

新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの大会運営となります。以下の内容を十分にご理解頂いた上で、ご参加いただきますよう宜しくお願いします

○ 大会当日の持参品

- ・アスリートビブス用安全ピン
- ・マスク（複数枚）
- ・荷物用ビニール袋（招集から競技終了までの荷物用。各自名前やナンバーを記載しておくこと）
- ・大会当日の健康チェック表

○ 受付について（競技者・コーチ・引率者・視覚障がい競技者のガイドランナー及びアシスタント・大会関係者）

- ・受付は正面玄関外側仮設テント内に設ける（右写真参照）
 受付時間 6月3日（金）14:00～16:00、
 6月4日（土）・5日（日）8:00～
- ・各日ごとに検温、体調チェックを実施する。その際、【大会当日の健康チェック表】を必ず提出すること。また、コーチ・引率者・ガイドランナー・アシスタントは、必ず競技者と同伴すること。単独での受付は受理しない
- ・大会前2週間の体調管理チェックシートの提出は不要だが、従来通り大会2週間前からの検温並びに体調管理に努めること
- ・検温、体調チェックを終えた後、リストバンドと封筒を受け取り、中身（プログラム、各自のアスリートビブス、IDカード）を確認すること
- ・競技場スタンドへは、リストバンドを着用した者のみ入場できる。紛失破損等による再発行はしない
- ・受付での密集を避けるため、競技開始4時間以上前の受付は控えること
- ・アクセス区分を設ける。競技者には「選手ID」、競技者1名につき1枚の「コーチID」を、ガイドランナーとアシスタントには「ガイド・アシスタントID」を支給する。競技場内並びに補助競技場においては、競技役員の指示に従うこと
- ・玄関口ピー内に知的陸連本部、感染対策室等を設置する。参加者は指定された場所で待機・観戦すること。TICは、招集所隣に設置する



○ 更衣室の利用について

- ・更衣室は密を回避するため1度の利用人数を上限20名とし、入退室時に、手指消毒を行うこと

○ 競技者の導線について（右写真参照）

- ・競技の運営状況により招集時刻が変わる可能性がある。情報は全て知的陸連 Facebook ページ「<http://www.facebook.com/jidaf.koho/>」で知らせる。事前に登録等済ませておくこと
- ・招集所（①地点）を、競技場の補助競技場側（100m スタート側）に設ける。招集の際、商標やスパイク等のチェックを受ける。待機中はマスク着用を厳守し、私語を慎むこと
- ・各種目のスタート地点または競技エリアに移動したら、競技役員の指示に従い、競技を行う準備（ユニフォームになる、スパイクを履く、マスクを外す等）をする
- ・フィニッシュ後（②地点）は他の選手らとの握手や談笑、倒れ込み等がないように留意し、組でまとまってミックスゾーン（③地点）へ移動する。その際、配布されたマスクを着用すること
- ・選手退場口（④地点）で荷物を受け取り、引率者と合流、もしくは1人で待機場所に戻る



○ アクセスコントロールについて

競技エリア	「選手ID」「ガイド・アシスタントID」装着者
補助競技場	「選手ID」「ガイド・アシスタントID」「コーチID」装着者
コーチ席	「コーチID」装着者

○ 待機場所について

メインスタンド	競技者・コーチ・ガイドランナー・アシスタント・引率者
サイドスタンド バックスタンド	一般観客



○ メインスタンド利用時（競技者・コーチ・ガイドランナー・アシスタント・引率者）の導線について（下写真参照）

- ・第二出入口（⑤地点）及び第三出入口（⑥地点）を使用する。その際、事前に受付にて受け取ったリストバンドを必ず装着し、係員に確認を受けた後、メインスタンドに入場することができる
- ・サイドスタンドとバックスタンドには入場することができない
- ・スタンドでの声を出しての応援は厳禁で、拍手のみ可能とする



○ 一般観客の導線について（右下写真参照）

- ・曲走路側（スタンド場外）出入口（⑦地点と⑧地点）にサーモカメラを設置する。【大会当日の健康チェック表（一般観客用）】を必ず提出すること。係員による検温後、異常が認められない場合に「入場証シール」を衣類に貼り、入場することができる
- ・メインスタンドには入場することができない
- ・競技の際「コーチ ID」装着者のみ、コーチ席を利用することができる
- ・スタンドでの声を出しての応援は厳禁で、拍手のみ可能とする



○ 映像の配信について

- ・競技中の映像を配信する準備を進めている。詳細は HP にて告知する

○ 体調管理チェックシート（大会後）について

- ・大会後は2週間記入すること（HPでダウンロードできる）。提出を求める場合があるので、各自保管すること。大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、知的陸連事務局へ速やかに連絡をすること

○ 参加者厳守事項について

- ① 体調が不確かな競技者がいた場合は、その場で検温を実施し、状況により参加を許可しない場合がある
※事例：一見して体調が悪そうに見える、顔がほてっている、咳・鼻水（風邪）の症状が見られるなど
- ② 運動時を除きマスクの着用を義務とし、主催者はマスクを着用していない人に対して注意を促す
- ③ 手洗い・手指の消毒の徹底に努めること
- ④ 自分の競技が終了したら、できる限り速やかに帰宅すること
- ⑤ 選手はビニール袋（40ℓサイズ以上）1枚を用意すること
※ビニール袋は招集後、荷物を入れて待機場所に置いておくために使用する
- ⑥ 各自で出したゴミは必ず持ち帰ること
- ⑦ 競技場内では三密を避けるように工夫をすること。なお、競技者とコーチ等の接触については、両者の合意及び感染予防策の励行、ガイダンスの遵守を前提に認める
- ⑧ 運動中につばや痰を吐くことは極力行わないこと
- ⑨ 更衣室利用者は三密を避け、利用は短時間を心掛ける。更衣後は速やかに退場する。シャワー室は使用できない
- ⑩ 個人用のタオルを共有しないこと

- 本大会は、以下のガイドライン等に則り開催する。関係者は各種ガイドライン等の再度の確認を行い、理解した上で参加すること

○ 日本知的障がい者陸上競技連盟「陸上競技再開についてのガイドライン」 一部抜粋

- ・競技会開催を管轄する自治体からイベントの開催が認められている
- ・競技会に関わる全ての人（審判員、競技者、コーチ等）の健康状態の管理体制を整える
- ・三密を回避。こまめに手洗いはたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。マスクを着用する
- ・競技会終了後、2週間以内に発熱等の症状があった場合には最寄りの保健所、診療所(かかりつけ医)等に報告し、保健所、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告する
- ・密集場所の対策 陸上競技場諸室/招集所/スタート待機所/フィールド待機所において、ソーシャルディスタンスを確保できる使用人数で制限する

○ 公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」 一部抜粋

- ・以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。（イベント当日に確認を行う）
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛等の症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

○ 公益財団法人日本パラスポーツ協会「パラアスリートのための新型コロナウイルス感染症予防について」

○ 公益財団法人日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイダンスの資料【第4版】競技会開催について」